

令和2年度

社会福祉法人 山北町社会福祉協議会 事業計画

（基本方針）

近年、地域社会を取り巻く状況は、少子高齢化の進行や家族形態の多様化に伴い、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の増加のほか、生活困窮者など新たな社会問題も発生し、複雑化しています。また、介護と育児の問題を同時に抱える人や、80代の親と働いていない50代の子が同居する「8050問題」など、複合的な課題を抱える家族が増えています。

このような状況の中、公的サービスによる課題の対処には限界がきており、住民同士が寄り添いながら支え合うことが必要になっていることから、地域福祉推進の中核的役割を担う社会福祉協議会は、これまでも増して地域における様々な生活課題や福祉課題に対する取り組みが重要なものとなっています。

また、毎年のように発生する大規模な自然災害においても、地域住民の支え合いの重要性が注目され、災害ボランティアの活動にも大きな期待が寄せられていることから、本年度も災害ボランティア講座を開催するとともに、災害ボランティアグループの組織化に努めてまいります。

なお、町の「第3期地域福祉計画」と一体で策定した「第5次地域福祉活動計画」の2年目となりますが、基本理念である「みんなの手で誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、各事業に取り組んでまいります。

（重点目標）

1. 第5次地域福祉活動計画の推進
2. 地域における支え合いの仕組みづくり
3. 災害ボランティアグループの組織化
4. 財政基盤の強化

（事業概要）

（１）総合相談システムの充実

- ①各専門分野の相談事業の実施
 - ・心配ごと相談（月１回、第１金曜日）
 - ・福祉と暮らしの相談（社会福祉協議会）
 - ・介護相談（地域包括支援センター）

（２）地域で生活するためのサービスの提供

- ①紙おむつ・尿とりパット給付事業の実施（３か月ごと１００枚限度）
- ②移送サービス事業の実施
- ③給食サービス事業の実施（月２回、第１・３火曜日）
- ④配食サービス事業の実施（祝日・年末年始を除く月曜日から金曜日）
- ⑤理容・美容サービス事業の実施（年４回）
- ⑥一人暮らし高齢者防火指導事業の実施
- ⑦見守りネットワーク事業の実施
- ⑧レスパイトサービス事業の支援
- ⑨高齢者等の生きがい事業の実施
 - ・いきいきサロン（月１回、第４火曜日）
 - ・ニコニコ健康体操（各コース月２回、火曜日コース・水曜日コース）

（３）福祉サービス利用支援と質の向上

- ①日常生活自立支援事業の実施
- ②成年後見制度・権利擁護事業の検討
- ③第三者委員による苦情解決窓口の充実

（４）地区社協活動の支援

- ①地区社協活動を支援するための助成金交付（８地区社協）
- ②地区社協の活動内容の充実

（５）小地域福祉活動の充実

- ①小地域サロン活動の設置推進・運営支援（７団体）
- ②地域活動実践者の育成
- ③支え合いサービス事業の検討

（６）福祉団体の支援

- ①福祉団体への適切な助成金交付（５団体）

②福祉団体活動の活性化を促す協働事業の実施

- ・世代間交流事業
- ・ともしびショップ「さくら」の支援

(7) 福祉人材の育成と確保

- ①ボランティアの発掘と登録の促進
- ②ボランティア育成講座の開催

(8) ボランティアセンターの充実

- ①ボランティアセンターの機能強化
- ②ボランティア活動保険の加入促進
- ③ボランティア団体活動補助金の適切な交付（6グループ）
- ④災害時におけるボランティアの体制整備
- ⑤災害ボランティアセンター合同訓練の実施

(9) 福祉教育の推進

- ①福祉体験学習の実施
 - ・高齢者施設での体験学習
 - ・ボランティアによる講座

(10) 組織体制の強化

- ①理事会、評議員会、各種部会の定期的開催
- ②理事の担当制による部会の設置

(11) 事務局体制の強化

- ①職員の研修会等の定期的開催

(12) 自主財源の確保

- ①一般会費、賛助会費の実施
- ②収益事業の開発・検討

(13) 広報・公聴・啓発活動の充実

- ①広報紙「社協やまきた」の紙面の充実（毎月発行）
- ②ホームページの充実と有効活用
- ③社会福祉大会の実施（2月第4土曜日）